

# 投資!?

宜野座支店長 平田 努

庭に小さな家庭菜園が有りますが、私が野菜を植え付けている話を聞きつけた今は亡き母が様子を見に来てくれました。母は農業を営む長男と同居をしている、いわゆる筋金入りの農家のゴッドマザーです。私の家庭菜園を一瞥し、出来はどうか聞いてきました。野菜の方はうまく育っていなかったの、あまりうまくいかなかった事を伝えると、「肥料を入れたか」と聞いてきた。「十分には入れてないと思う」と答えると驚くべき答えが返ってきたのです。私を小馬鹿にしたように「フンッ、投資もせずに、実を取ろうとするのか」と。ムムッ、この母親から投資などと言った言葉がでてくるのかと、見事に背負い投げ1本負けと云った感じになりました。ならば、肥料や肥やしは投資となるならば、立ちションも投資となるな、などと屁理屈をこねつつ負け惜しみを言ったものでした。その反省を踏まえて肥料をたっぷり投入し、再挑戦をしましたが、またまた不測の事態が発生したのです。今度は栄養が効きすぎたのか、幹と葉っぱだけがやけに立派に成長をして実の方はぼつり、ぼつりと云った具合になりました。何事においても一筋縄ではいかないものだ。“その人の靴をはいてみよ” 生兵法は大怪我の基ですぞ!!。そんな母も今は黄泉の人。いつまでも懐かしく、心に深く残る思い出を沢山残してくれました。

## 庭の果実



コーヒーの花



グアバの花



山ももの実

# 我が家の台風チェック

代表取締役会長 松川 清伯

沖縄県は台風の常襲地帯です。毎年平均して6月～11月まで25個程度発生し、11.4回接近 上陸は平均2.7回あります。建物における台風被害を受けることが多い箇所は、ドア・窓（ガラス含む）、屋根（瓦含む）、バルコニー、外壁、室外機、シャッター、軒天の順となります。いざという時に備えて、我が家の台風チェックをしてみましょう。

- ガラス窓等：飛来物等でガラスが割れると強風が室内に吹き込み、天井や、屋根がめくり上がるなど思わぬ損害が発生します。雨戸やシャッター等の取り付けが効果的です。又、ガラスの内側に飛散防止フィルムを張ることで衝突物の貫通と割

- れたガラスの飛散を防止します。
- 通風孔や換気扇等の開口部：雨・風の強い大型台風の場合は、通風孔や換気扇等の開口部から雨が吹き込むことがあり、開口部には外部からビニールテープを張ったり、カバーを取り付けましょう。
- 屋根回り：屋根瓦にひび割れ、欠損、ズレ、浮きがある、降雨時に雨漏りがしたことがある場合は、屋根の下地剤が腐っていて、屋根材の固定が低下し、屋根材の飛散に繋がります。点検しましょう。
- 屋上の水タンク等：取り付け架台にガタつきがあると建物を傷めたり、強風により飛ばされ、近隣にも被害を及ぼす場合があります。
- ベランダやバルコニー等の排水口：排水口が詰まっていると、排水が出来ず、そこから雨水が侵入します。事前に排水口を確認し、つまりを除きましょう。



(実線は主な経路。破線はそれに準ずるもの)



割れたガラス



(独) 建築研究所ホームページより転載



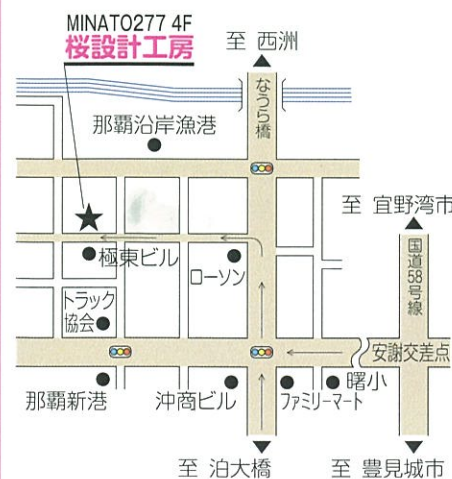
発行所／(有)桜設計工房  
所在地／那覇市港町2-7-7  
みなと277 4F  
電話／098 (867) 5987  
FAX／098 (863) 7690  
E-mail:info@sakura39.biz  
http://www.sakura39.biz  
発行人／喜名英之

西原支店／西原町小波津233-16  
電話／098 (946) 5066  
FAX／098 (863) 7690  
宜野座支店／宜野座村字惣慶1829-2  
電話・FAX／098 (968) 7222

創業／昭和61年7月1日  
営業種目

- ＊建築企画設計・監理業務
- ＊特殊建築物等調査・検査報告
- ＊耐力度調査
- ＊耐震診断・改修設計監理業務
- ＊補償コンサルタント業務

**企業理念**＝私達は、誇り、使命感を持って顧客の信頼を第一とします。その上で人と自然が共存し、豊かな地球環境を創造して社会の発展に貢献します。さらに建築設計を通して感動、満足、安心を与え、明日への夢と希望を提供します。



# 国際食品工業展を視察して



(有)桜設計工房  
代表取締役社長 喜名英之

先日、東京ビックサイトで開催されたFOOMAJAPAN2018国際食品工業展の視察に行っていました。FOOMAJAPANは食品機械に関する調査研究や情報収集・提供、標準化と安全・衛生化などの事業推進を通じて、食品機械工業の発展と国民生活の向上に貢献することを目的としています。2018年のテーマは「食の技術は無限大」でした。

基本的には食品製造者関係者向けのイベントですが発注者の導入機械がどのようなものかの確認のため、参加してまいりました。出展企業が798社あり、製造機械、品質保持、包装、システム、搬送その他と多岐に渡り、4日間の開催で10万人以上の来場者があったようです。10万人のうち、4千人強が海外からの来場者だったようです。私は2日間視察したのですが、多くの食品製造過程に掛かる機械でその自動化に目を見張りました。コンテナのような機械の片方から材料を投入すると出口からすぐにも店頭と並びそうなクリームのかきまき子ができたり、ひたすら卵の殻を割り、黄身と白身を分ける機械、凄まじいスピードで不良品を感知してラインから省く機械等々、なかでも私が関心したのは人間の動きのようにしなやかに物を移動したり、検知する機械でした。テレビでは見たことはありましたが実物を見るとその動きに驚かされました。AI（人工知能）が発達すると人間の仕事が奪われると言われて久しいですし、どこまでAIが製造機械に浸透しているかは分かりませんが今までは単純作業は機械に勝てないと思っていました。複雑でしなやかさが必要な作業も十分機械で可能なのだと認識させられました。また、働き方の改善、生産性の向上と人材不足が叫ばれる昨今、食品業界に限らず、鍵はここにあるのだろうと確信しました。ただ、どんなに自動化が進んでも材料の配合、味、品質管理、機械のメンテナンス等人間でなければ出来ないことが確実にありますし、そこに隙があると大量に製造される製品が良質な商品となりません。

建築業界も人手不足が続いております。現場の方では中々自動化というわけには行きませんが道具は変わっています。のこぎりや金槌は現場には無く、工場で組み立てた製品をビスやプレス釘で固定することが多く現場作業を減らす工種が増えていきます。

設計についても二次元の図面から三次元で設計し、視覚的な印象も確認しながら設計内容を詰め、その後に図面化できるような体制に移行しようと一部では進捗中ですし、業務を分業し、以前は構造、設備設計が主な外注先でしたが、一部の図面や積算なども分業することにより、負担軽減とスピードアップを図っています。ただ、その中でも私たちはそこで発注者の意図を的確に読み取り、要望に十分対応する設計内容かつ品質の高い成果品を納品することに日々努力していく所存です。

# プロ・サッカーキャンプ等受入施設整備工事

崎原 利克

昨年より工事を行っていた南城市陸上競技場：プロ・サッカーキャンプ等受入施設が5月をもって無事竣工しました。本施設は観覧席へのスロープ、車いす利用者用便所の設置等バリアフリー対応となっています。

6月に予定していたオープニングセレモニーが台風のために中止になるなど残念な出来事もありましたが、これから多くの市民の皆様にご利用いただけることをうれしく感じています。来春Jリーグのキャンプが開催されるときにはぜひ足を運んで下さい。

建物面積：1,196.93㎡  
(増築：689.27㎡、既設：507.66㎡)  
延べ床面積：1,999.79㎡  
(増築：1,134.76㎡、既設：865.03㎡)  
構造：鉄筋コンクリート造2階建て



【施設前景】



【建物後景】

## 「文月(7月)」

大城 哲男

梅雨の季節も過ぎ、一年の半分が終わり折り返しとなる7月、いよいよ夏が始まり長い夏休みに子供たちはワクワクする季節となりました。「海開き」、「七夕」、「土用」だったり、7月の風物詩もたくさんあります。

そんな7月の旧暦名を「文月(ふみづき、ぶづき)」と言います。なぜこの名称なのか？。文といえば手紙のことですが、7月に何か手紙を書く習慣でもあったのでしょうか。その由来を調べてみましたので一説ではありますが紹介します。

文月の名称の由来には、七夕の短冊が関係しているようです。短冊に願い事を書く習慣はすいぶん昔からあったようで、この短冊に書く「文」から「文月」となったとする説が伝えられています。また、七夕には本を虫干しにする習慣から、本のことを昔は「文(ぶん)」と呼んでおり、そのことから「文月」となったともいわれています。

7月の別名にはほかに、「七日月」、「棚機月(たなはたつき)」、「女郎花月(おみなえしつき)」、「欄月(らんげつ)」、「涼月(りょうげつ)」というのがあります。ちなみに「涼月」とは、暑くなっていくにつれ「風が吹くと涼しく感じる」ことからこう呼ばれるようです。

こういった由来や風物詩を知ること、また違った7月(文月)の楽しみ方が生まれてくるのではないかと思います。日に日に暑くなっていく時期ですが、季節の細かな変化を感じながら、体調にも気を配り、この夏を過ごし乗り切っていきたいと考えています。



野原 智子

首里鳥堀町で新しい現場がスタートしました。今年はカラ梅雨と言われるくらい晴天続きだったのですが、現場が始まった途端、連日大雨となり台風のためにも生まれてしまった…。毎回そうですが、躯体が立ち上がるまで天気に惑わされる悩ましい日々が続きます。現場の方は本当にご苦労様です。来年1月までの約7か月間、安全に滞りなく工事完了できますように…。

用途：共同住宅  
構造：壁式鉄筋コンクリート造  
地上3階建  
2LDK 5戸  
1K 6戸 計11戸  
延べ面積：483.33㎡(146.20坪)



## 子どもプロジェクト

伊禮奈津子

先日、南城市を訪問した際に2階の階段ホールで「なんじい子どもプロジェクト」として制服、体育着のリサイクルが行われていました。中学の成長の過程でサイズが合わなくなることは喜ばしくも買い換えられないといけない出費に悩ましく思っている方々も多いのではないのでしょうか？。制服って意外に高額なんですよ。入学の準備で制服、教科書、体育着類、部活に入部することで短期間ではんばない出費になります。

そうして、役目を終えた制服でも我が子が着てたとすると捨てるのに躊躇しませんか？。後輩さんが着てくれたら嬉しいですね。先輩からとか後輩にとか個々や部活父母会などでの譲り合いもありますが、誰でも気軽に譲り受ける場所があると行ってみたいと思う人もいますよ

ね。地域に根差すってそういうことなのかなって思いました。ステキな支援活動にホソワカしました。



↑校名や名刺の刺繍はボランティアの方たちで取り除いているので利用しやすいですね。

←なんじいフードバンク。子ども食堂支援への食材を寄付するコーナーもありました。

■なんじいとは・・・南城市の公認キャラクターでハートのお顔が特徴です。

## 子の安全・親の安心

上原 麗奈

時代の流れとともに、便利で画期的なモノが増えるなか、娘の通う小学校では、昨年より非常に便利な安心グッズが導入されました。その名も「ツイタもん」。新聞にも掲載され、既にご存知の方もいらっしゃると思いますが、ICチップが埋め込まれた小さなタグをランドセルに入れておくだけで、子供の通過時刻と通過場所(正門・裏門)を知らせるメールが親御さんの携帯へ届くというシステムです。まだ低学年で女の子というのもあり、心配性な私は月々432円という値段で安心を買っています。実はここ最近、また？というほど不審者情報のメールが非常に多いのです。その大抵の不審者は「お菓子をあげるから(または道を教えてほしいから)車に乗らないか？」なのです。学校を筆頭に、今時どこのご家

庭でも教えられているであろう「いかのおすし」。こういう声をかけてくる大人たちを実に不快に思うのです。私もそういった不審者のおかげで毎日毎日下校時刻になると、気が張ります。地域や周りの大人が安全という時代はどこに行っちゃったのでしょうか…。昔はなかった防犯ブザーも昨今では子供の安全のために必須な世の中になってきています。なんとも世知辛くなってきておりますが、時代に沿った安心、安全確保で、私たち大人は子供たちへ十分に目を向け、守ってあげるべき立場ではないのでしょうか？。

